

あなたの愛犬は「癒し」よりも「運動」を求めていますか？

# アジリティーローラー

主管:ドッグスポーツ愛好会 wanco@dogsports.jp

アジリティーローラーは、転がして犬と遊べる犬用「ロールアイテム」と、アジリティー競技用の障害を使用して行うニッチ・ドッグスポーツです。アジリティーローラーはドッグスポーツ初心者(犬)をはじめ、運動不足気味の愛犬も手軽に参加して、上達していく楽しさを味わうことができます。

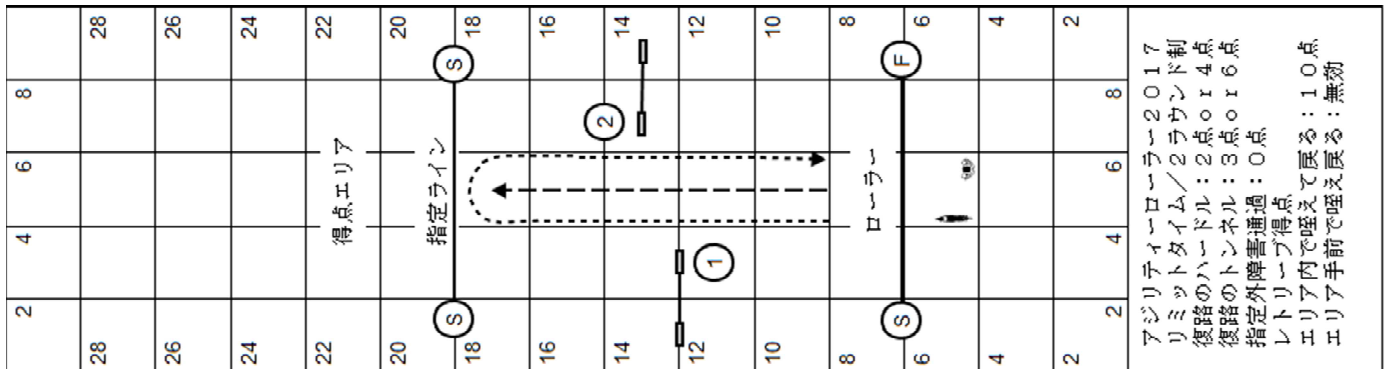
ドッグオーナーと同伴犬とが、コミュニケーションを深められるばかりでなく、愛犬の運動の大切さも再認識して貰えることと思います。人と犬の生活の質(QOL/クオリティー オブ ライフ)の向上にも、有用なゲームです。

## ■アジリティーローラーとは・・・

プラーやディスクなど転がすことのできる犬用ロールアイテムで遊ぶ面白さと、アジリティー競技に使われるハードルやトンネルを、クリアする楽しさを組み合わせた遊技種目です。

アジリティーローラーには、コース内でハンドラーが犬と一緒にロールアイテムのところまで走って、アジリティー競技と同じようにハンドリングができる「レベル1」クラス(リード付きOK)と、ハンドラーはコースの途中までしか走れず、指定ゾーン内から遠隔する「レベル2」クラス、スタート地点からの遠隔が求められる「レベル3」クラスのゲームが考えられます。レクリエーションスポーツとして、それなりに速さと確実さが求められるレトリーブゲームです。

## ●コース例



1ラウンドの試技は2回で2ラウンド制。リミットタイム(標準タイム×4)を設定します。良い方の得点を採用します。ハンドラーはスタート/フィニッシュラインから、ローラー(転がす)します。競技犬の4本足がラインを超えない間に、ロールアイテムを受け取ってローラーした場合は、その試技は無効となり、再度ローラーとなります。制限時間を越えても、ゴールラインを通過できれば、その試技は有効です。スタートの合図でタイム計測がはじまり、ロールアイテムを啜えた競技犬が、2回目にゴールラインを超えたところで計測を終了します。

コース内の障害不通過は無得点です。障害は復路でロールアイテムをくわえて、ハードルをクリアした場合:4点、バー落下した場合:2点、復路でロールアイテムをくわえてトンネルをクリアした場合:6点です。また、指定された障害以外をクリアしても得点にはなりません。指定ラインを超えて、得点エリア内にロールアイテムがあり、競技犬がこれをくわえてゴールまで戻った時:10点。転がしたロールアイテムが指定ライン手前にある場合、これをくわえてゴールまで戻ってきたときは無効。再度ローラーします。タイム計測は継続します。

得点の計算方法は、「リミットタイム÷ゴールタイム+各障害得点小計=獲得点」となります。

計算例 100(リミットタイム)÷22(ゴールタイム/秒)+10(得点エリア)+4(復路ハードル)=18.55(獲得点)